

「クラブ研修リーダー制度について」

2011.7.27 高萩 RC ロータリー情報・研修委員会

<2011~12 年度の研修について>

先週の例会で、ロータリー情報・研修委員会の基本方針・計画を述べましたが、当面毎月一回例会で「ロータリー情報 10 分間」を実施し、ロータリーの基本的な考え方等を発信しますので、それについていろいろご意見をいただきます。

本日は、その第一回目ですので、このロータリー情報 10 分間のきっかけとなった「研修リーダー制度」について説明いたします。

<研修リーダー制度の背景>

ここ数年 RI からクラブの研修・教育を強化しようとの声があがってきています。2006 年からはクラブ研修リーダーの設置を推奨しています。その事情・背景には次のことが考えられます。

- * 入会后数年で退会する会員の増加
 - * 会員のロータリー知識の低下
 - * 研修・教育を目的とするプログラムの減少傾向
 - * 奉仕活動に目が向き過ぎ、ロータリーの理念について意識の希薄化
 - * 広報強化による外部へ発信できる社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕活動の増加に対してクラブ奉仕・職業奉仕への回帰
 - * 財団を中心にして、資金面の活動を強化していることへの反動
- 等々があげられるのではないか（個人的見解）

<クラブ研修リーダーの任務>

(1) クラブの年間研修計画を立案し、実施・監督する。以下の項目のクラブ研修プランを作成。

- ① クラブ指導者が地区研修会に出席
- ② 新入会員のために一貫したオリエンテーションを定期的実施
- ③ 現会員のために継続した教育の機会を提供
- ④ 全ての会員のための指導力育成プログラムを計画・実施

(指導力育成プログラムは、ロータリアンが地域社会や家庭、事業においてさらに貢献できるよう、個人的な成長を促し、指導力を磨くものです。このプログラムは会員を維持するための素晴らしい方法です)

- (2) 全ての研修ニーズが満たされるようクラブ理事会および各種委員会と協力
- (3) 支援とアイデアを得るために、地区研修委員会、ガバナー補佐、ガバナーと協力
- (4) 「クラブ指導力育成セミナー」を計画・実施

(クラブ指導力育成セミナーの目的は、クラブ会員の指導力を開発することで、職業における日々の仕事を充実させ、将来のクラブ指導者を育成することである。)

<研修についての今年度地区目標と棚谷会長の方針とその対応について>

RI 第 2820 地区では、「クラブレベルのロータリー研修を強化・充実するため、クラブ研修リーダーの設置」を今年度地区の重点項目に掲げました。クラブ研修の充実はクラブの活性化と組織強化の重要要

素です。

棚谷会長も、新年度の基本方針・計画に採り入れ、研修を充実することにより高萩 RC のさらなる体質強化を掲げました。

高萩 RC 会員のロータリー情報や知識については相応のレベルにあると思われ、無理して今すぐに教育・研修をやらなくてもよろしいかとは考えますが、さらに高萩 RC の体質強化・レベルアップの観点からは間違いなくプラスであり、棚谷会長の考え方により、新年度から対応することにしました。

ただ、5月に内々で理事会で検討しましたが、高萩 RC の会員数から考えると、RI や地区の方針である「クラブ研修リーダー設置」は無理があるのではないかとと思われるので、ロータリー情報委員会の任務を拡大充実することにより一年間様子を見ることにしました。

今年度は「ロータリー情報・研修委員会」と委員会名を変更し、クラブレベルでの会員研修をロータリー情報委員会の任務に加えしました。

高萩 RC 細則第 10 条第 1 節 b (3) 「ロータリー情報・研修委員会の任務」

(以下のアンダーライン部分が追加・変更の部分)

この委員会は、会員候補者にロータリークラブ会員の特典と責務に関する情報を提供し、会員にあらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供するものとする。

クラブの包括的な研修計画を立て、研修についての支援やアイデアを得るために、理事会、委員会、パストクラブ会長、第 1 分区ガバナー補佐、地区研修委員会、地区ガバナー等と協力して、会員にロータリーに関する継続的研修を実施し、新会員には入会してから三年間はオリエンテーションを定期的に企画・実施するものとする。

<8 月以降のロータリー情報 10 分間の内容——主にロータリーの理念、考え方を纏めて話してみます>

8 月 24 日 「シェルドンの奉仕の理念について」

9 月 「シェルドンの奉仕の理念について (続き)」

10 月 「決議 23 - 34 号について」

11 月 「現代におけるサービスの意義」

12 月以降 「ロータリーの綱領の変遷」、「ポリオ・プラス・プログラムについて」